

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
学校教育	学校単位で郷土の誇りを発掘する等の取組を行う一校一自慢運動の実施
学校教育	松代の農業大学校近くに県立4年生大学の整備(法学部、農学部、栄養学部、保育学部。工学部は上田。駒ヶ根に看護学部)
学校教育	県内の高等教育機関の入学者増加による県内就職者の増加
学校教育	高校を義務教育化する。中高一貫教育校にすべて転換する。
学校教育	自然・伝統等の優れた特性を活かした教育方法で他県に劣らない魅力的な教育を進めれば、県内で子育てする親も増える。
学校教育	教育、文化の振興。県全体で学力向上を目指す。
学校教育	他県・他国の良い取組を真似していくことが成長につながる。今までのやり方・考え方を変え、新しいものを取り込む勇気が必要
学校教育	段階的な少人数学級制度を取り入れる等、初等教育の充実にも取り組む。
学校教育	基礎学力の定着を目指し、少人数学級を実現する。
学校教育	学力低下防止のためには少人数クラスできめ細やかな教育を行うことが重要。教職員を大幅削減しては、学力低下に歯止めがかからない。
学校教育	子供の学力低下が子育てをする上で不安要素となっているため、学校での少人数学習、教師に対する評価に力をいれるべき。また、家庭の所得によって子供が受けられる教育に差が出ないように、資金的な援助が必要
学校教育	小中学生の学力向上のため30人学級を中学校まで拡大するとともに、教員の資質向上を行う。小学校教育の充実のため、単元ごとの理解度の把握と補習授業等により、学習塾に通う必要がないくらい学校で十分な教育をする。
学校教育	豊かな自然が広がっている長野県で質の高い教育が受けられれば、子どもを育てる場所として一考する両親は多いのではないかと。
学校教育	子どもの学力を伸ばす授業・自由な発想を高める授業を行えば、教育県というブランドイメージの復活として評価されるのではないかと。
学校教育	学校教育で大事なものは、できるだけ早い段階で生徒が自ら目標を設定すること。目標達成時に達成感・満足感を得られ、勉強に対する意欲が増す。
学校教育	学力の向上だけでなく、その根源である、人の話を聞いて学ぼうとする姿勢と実践力を身につけられる教育の仕方を考え、実行すべき。
学校教育	英語学習を外国人観光客相手の実践的なものにするなど、限られた財源の中でも可能な範囲で、最大の効果を得られるような学習環境を提供する。
学校教育	小学校高学年向けに「働くおとなのお話」を年1回行い、まずは身近な仕事に関心を持ってもらう。
学校教育	学校教育では、将来どんな職業に就きたいか、そのためにどこに進学すべきか、人生の目標を設定すべき。そのために生徒が様々な職業を知り、触れ合う機会を多くするべき。
学校教育	将来長野県の産業を支える技術者を育てるため、理系教育を推進し、子どもの頃からものづくりに興味をもつきっかけを作ることが大切
学校教育	長野県の豊かな自然環境を活かした総合学習が必要
学校教育	小中学校の教育現場で、地域の文化や環境について学ぶことで、長野県を愛することにつながる教育を行えたら、将来のUターン就職につながる。
学校教育	小中学校の頃から長野県について理解を深めることができるよう、総合的な授業を増やすべき。長野県のことをよく知り興味を持ってもらうことで、将来何をしたいか明確になり、学力も向上する。
学校教育	総合や学活の時間を使い、高齢者が伝統ある祭り・食文化・遊び等を小学生に教える。
学校教育	学校教育を充実させ、地域活動等の体験・芸術・スポーツ等を通じた人材育成を行う。

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
学校教育	小中学生を対象に、地域でのショートステイを実施する。子ども自身が暮らす地域のことを理解して育つことで、地域を支える担い手が育ち、地域づくりの一歩になる。
学校教育	人々が互いに理解しあい、違いを認め合うためには、県全体に顔の見える交流をする機会を設けることが必要。これまであまり交流を持たなかった企業と学校等の交流により、相手に対する意識が変わる。
学校教育	県立大学への進学希望者を増やすために、高校生・企業・地域住民のニーズを適切に把握する。
学校教育	長野県に多くの若者を集めるために、より多くの大学や専門学校を誘致すべき。
学校教育	学力が高く学習環境が整っていれば、良いイメージを持ってもらえる。また、県内で優秀な人間を育成し働いてもらうことが、産業の発展・長野県の発展につながる。
学校教育	若い人を集めるために、教育機関を拡充する。学生が長野県で生活すること自体が経済に対して与える影響は大きい。
学校教育	県内に若者を留まらせるためには、県内大学の数を増やすか、既存大学の学部数を充実させることが必要
学校教育	県内に大学を増やし、若者が地元の大学に進学するよう促す。
学校教育	若者の県外流出を防ぐだけでなく、県外から若者を呼び込むため、教育に力を入れ、大学の水準を上昇させる。
学校教育	これからは世界と対等にコミュニケーションができる人材を育成する必要があるため、海外の高校で3年間学べば県内の高校過程を履修したとみなす制度を設ける。
学校教育	国・市町村と協力し、中高一貫教育や高校・大学の一貫教育を行うべき。
学校教育	学年費、山間部からの通学にかかる費用など、中学・高校生の親の負担を軽減して欲しい。
学校教育	信州大学の受入定員の増員や、大学などの研究機関の充実により、県内に人が集まるようにする。
学校教育	子どもたちが日頃から交通安全・防災・地球温暖化防止に取り組むよう、指導を行う。
学校教育	不登校が多いことに対して何らかの取組があれば良い。
学校教育	小中学校の勉強でつまづいてしまう人・分からないことを聞けない人はたくさんいる。先生だけでなく行政職員も敏感になり、そのような生徒の悩みを聞く機会を増やすことが大切
学校教育	障害を含め、個々の特性に柔軟に支援できる体制(教員にも余裕が生まれる体制であること)
学校教育	義務教育諸学校すべて冷暖房完備し、教育環境を整え、教育効果をあげる。
学校教育	少人数学級よりも、教員の質の向上が先。次の世代の人材育成のためにも、教員の質の向上は重要な課題
学校教育	教育のレベルを上げるために教員の給料を上げてより良い教員を採用する。
学校教育	学校と家庭での教育を充実させるためにも、先生と家族の対話を増やして頂きたい。
生涯学習・青少年	長野市か千曲市に長野県生涯学習センターの整備。ウィキペディア、ウィキブックス、e-ラーニング、放送大学のよなものを整備
生涯学習・青少年	地域独特で先人の智慧を生かした寄附講座の開設等の促進
生涯学習・青少年	公共の教育現場ではもちろん、地域コミュニティで長野の歴史・文化・伝統芸能について学べる機会を設け、自然に故郷愛が育まれるライフスタイルを形成する。
生涯学習・青少年	お年寄り子どもたちをつなぐ生涯教育

新たな総合5か年計画意見・提言一覧表

施策分野	意見・提言等
生涯学習・青少年	高齢者が子どもたちの教育に関わる機会を充実させたい。
生涯学習・青少年	県が趣味の教室を主催し、高齢者同士や他の世代との交流の場を作るべき。
生涯学習・青少年	各市町村と協力して生涯学習事業の強化を行い、高齢者が培ってきた経験や技術を発揮できる場を増やすべき。
生涯学習・青少年	放課後の学校を有効利用し、講師のサポートにより子どもの段階に合わせて授業の予習・復習やさらに進んだ学習を行うことができれば良い。
芸術文化・地域文化	本県の独自・多様な文化の発信
芸術文化・地域文化	様々な年代構成での集会を行い、伝統文化を継承していく。
芸術文化・地域文化	それぞれの地域の文化を守り、育む取組を推進する。
芸術文化・地域文化	歴史、文化、スポーツの振興
芸術文化・地域文化	芸術・伝統工芸の鑑賞等の強化により、感性の豊かさの向上や文化の継承に力を入れる。
芸術文化・地域文化	価値のある景観を損なわぬよう、廃校施設を文化会館として利用する。
スポーツ	長野県でカーリングを普及させるため、小中学校の体育授業等でカーリング体験を取り入れる。